



## 長等小学校 150年の絆を未来へつなごう

令和5年2月11日、長等小学校は創立150周年を迎え、記念式典を行いました。この節目の年を子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様と迎えられましたことを教職員一同、大変光栄に思います。

記念式典には、歴代の校長先生、学校運営協議会委員の方をはじめ、約40名の来賓の皆様にご出席いただきました。

150周年記念事業実行委員長 清水奈央也氏の式辞、大津市教育委員会 教育長 島崎輝久様、NPO法人ながらまちづくり協議会 理事長 清水耕二様の祝辞に続き、学校運営協議会委員 中村諭様が「長等小学校これまでのあゆみ」を映像とともに紹介してくださいました。

また、各学年の代表児童が「長等の自慢」、「未来に残したいこと」、「誓いの言葉」を述べ、6年生の児童が「150周年記念の歌」を披露しました。長等の自慢などを書いた「クラスの寄せ書き」を体育館に掲示しましたが、書かれた一言一言に、長等小学校の魅力を再発見することができました。

午後はPTA主催のイベントが行われました。子どもたちが楽しめるよう、じゃんけん大会・長等小〇×クイズ、昔あそびや紙トンボなど、たくさんの遊びを準備していただき、子どもたちの笑顔があふれていました。また、青少年育成協議会の方も、ゲームを準備してくださいました。

多くの方々のご協力のおかげで、充実した一日となりましたこと、深く感謝申し上げます。



5年生:長等プロジェクト



1年生:ゲストティーチャーとの昔あそび

保護者の皆様、そして地域の皆様には、どうぞこれからも子どもたちの健やかなる成長を見守っていただき、ともに力を合わせて、地域の中の学校づくりにお力を貸していただきたく思います。今後も、ご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 校歌に込めた思い

本校は明治6年からの歴史をほこりますが、昭和22年4月に新学制（6・3・3制）が実施され、大津市立長等小学校と改称されました。昭和24年12月に新しい校歌の発表会があったとの記録が残されています。その校歌は3番までの歌詞があり（記念誌には3番までの歌詞が掲載されています）、ずっと歌われていたようですが、いつの間にか2番を割愛し、1番と3番を歌うようになっています。体育館のステージ横に掲示してある校歌も、1番と3番です。



2番の歌詞には、PTAと先生方、先輩（地域の皆さん）が力を合わせて子どもたちを育てていくという意志が込められているとのこと。

校歌は永遠に歌われ、子どもたちを育てます。小学校の6年間歌い続けた子どもたちが成人し大人となったとき、思わず校歌を口ずさむことがあるかもしれません。

先日、地域の方と話した際、「自分自身は長等小の卒業生ではないけれど、子どもと孫が長等小だった。家でよく校歌を歌っていたので、いつの間にか自分も覚えてしまった」と嬉しそうにおっしゃっていました。

### 長等小学校の校歌

- 一 春は校舎の窓近く 輝き匂う 山さくら  
秋は流水に影うつる 三井のお寺の照り紅葉  
いつも楽しく美しい 平和のしるし 長等校
- 二 青い空からふりそそぐ 光のように暖かい  
先生方の導きに PTAも先輩も  
力合わせて助け合う 協和のほこり 長等校
- 三 琵琶の湖よりまだ広く 比良の峰よりなお高く  
希望を胸に生き生きと 学ぶ僕たちわたしたち  
やがて花咲き実を結ぶ 文化の泉 長等校

以前は全校児童が体育館に集まって始業式などを行い、最初に校歌を歌っていました。新型コロナウイルス感染症の影響で、全校児童で校歌を歌う機会がなくなり寂しく思いますが、みんなで声を合わせて校歌を歌う日を心待ちにしています。歌詞にあるよう、『いつも楽しく美しい 平和のしるし 長等校』、『力合わせて助け合う 協和のほこり 長等校』、『やがて花咲き実を結ぶ 文化の泉 長等校』をこれからもずっと引き継いでいきましょう。



### 2/28（火） ありがとうの会

卒業式まで1か月となりました。1～5年生の児童が、なかよし大作戦でお世話になった6年生に感謝の気持ちを持つとともに、卒業をお祝いする気持ちを込めて、「ありがとうの会」を行います。5年生が中心となって会を進めます。思い出に残る、心温まる会にしましょう。